

令和 2 年度 看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画および結果

テーマ	担当者	目標	計画	経過及び結果	課題
勤務 現況 調査	看護 部長室 人事課	8 日夜勤 50%以上 になるよう看護師 確保定着に努める	・夜勤回数調査 ・看護師確保、定着に向けた取組みの継続 ・勤怠管理システム導入に向けた準備	・8 日夜勤率 50%は達成できなかった ・ICU HCU で夜勤回数 14 回となる月があった	・夜勤可能な人材の育成
夜 勤 の 負担 軽減	各職場 看護 部長室	看護補助者の夜勤 の導入	・4 月入職の看護補助者を早急に教育し、日勤業務の他、早出、遅出、準夜、深夜業務を導入し、夜間の看護師の負担軽減を図る。 ・夜間急性期看護補助体制加算 100 対 1 取得	・看護補助者 8 名採用 1 名退職 5 名夜勤導入 ・看護師 3 人＋看護補助者 1 名で勤務西 4、西 5、西 6、西 8、南 4、南 6 病棟で遅出、準夜、深夜勤務導入している。夜勤の負担軽減と超過勤務の削減がはかれた ・夜勤可能な看護補助者が 30 名となった	・看護補助業務のスキルアップをはかる ・全部署で夜勤導入ができるよう人員の確保をと定着をはかる
業務 分担の 推進	各職場 看護 部長室	看護師・介護福祉 士・看護補助者の 業務分担を行なう	・看護師・介護福祉士・看護補助者の業務の明確化 ・看護補助者の確保定着に努め、急性期看護補助体制加算 25：1 の維持 ・看護補助者のスキルアップ	・業務は明確化しているが、新たな業務分担につなげる取り組みには至らなかった ・6 回／年 研修を開催しスキルアップをはかった	・タスクシフト・タスクシェアリングをはかる ・上記ができるよう人材を確保する
時間外 勤務の 削減	各職場 看護 部長室	各職場で目標設定 する 各勤務帯での業務 改善を行なう	・各職場の目標を看護部で共有する ・就業前残業の削減 ・申し送り時間の短縮 ・看護記録の時間確保・簡略化 ・ノー残業デーの実施 ・マネジメントのできるリーダーの育成 ・クリニカルパスの作成と活用 ・入院センターの機能強化 ・緊急入院に対する応援機能の充実	・各部署の方針、総括を師長会議で共有した ・業務量調査を実施した結果、看護記録に費やす時間が多く、重複記録が多いことがわかった ・ノー残業デーを 2 部署で計画し、実践できた ・看護部長室、日当直師長がマネジメントし、応援体制が定着してきた ・緊急入院、夕方の入院が多く、時間外勤務の削減には至らなかった	看護記録の簡略化 をはかる

令和3年度 看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画

テーマ	担当者	目標	計画	経過及び結果	課題
夜勤の負担軽減	看護部長室 人事課 各職場	8 日 夜 勤 率 50%以上になるよう看護師確保、定着に努める 看護補助者の夜勤導入	・夜勤実態調査による現状把握 ・夜勤可能な人材の育成 ・育休中職員の定期的面談 ・看護補助者の早出、遅出、準夜、深夜業務を導入し、夜間の看護師の負担軽減を図る。 ・看護補助者の人員確保と定着 ・看護補助者のスキルアップをはかる (OJT OFF-JT)		
業務分担の推進	看護部長室 各職場	看護職間のタスクシフト・タスクシェアリングをはかる	・看護師・介護福祉士・看護補助者の業務範囲の明確化 ・タスクシフト・タスクシェアリングできる業務を明らかにする 業務の手順・マニュアルの見直しと整備 研修の実施 ・看護補助者の確保定着に努め、急性期看護補助体制加算 25 : 1 の維持		
時間外勤務の削減	各職場 看護部長室	各職場で目標設定する 各勤務帯での業務改善を行なう	・各職場の目標を看護部で共有する（方針・中間・総括） ・看護記録の時間確保・簡略化 ラウンド時ノート PC を持参する テンプレートの活用 重複記録をなくす（記録委員会課題） ・ノー残業デーの実施 ・クリニカルパスの作成と活用 ・入院センターの機能強化 ・会議の短縮 ・看護部長室、日当直師長がマネジメントし、応援機能の充実をはかる 緊急入院 検査 入浴介助 他		